

六甲山系直轄砂防事業 —事業概要—

■過去の主要災害

六甲山系ではこれまでに何度も災害に見舞われてきたが、なかでも昭和13年と昭和42年の災害は特に甚大な被害を及ぼした。近年では、平成7年に阪神・淡路大震災によって、多数の山崩れやがけ崩れ、大小さまざまな地割れが発生した。

阪神大水害被災状況(元町6丁目)(昭和13年)



土砂や流木の氾濫状況(北長狭通8丁目)(昭和42年)



住吉台の山腹崩壊(平成7年)



■砂防事業基本方針

1. 砂防施設整備

- ・土砂災害を引き起こす危険性が高い箇所への砂防施設整備
- ・老朽化した既設基幹堰堤の補強・改良対策



剣谷第四堰堤(新設)



補強・改良前の赤旗堰堤



赤旗堰堤(補強・改良)

2. 六甲山系グリーンベルト整備事業の推進

施設整備(斜面对策工など)、樹林整備

葦合地区斜面对策



高取中央地区斜面对策



森づくり活動実施状況



○市民と協働による森づくりの推進

六甲山系グリーンベルト整備事業では、斜面对策等の他に良好な樹林整備を実施。樹林整備の一環として、市民団体・企業・小学校等による森づくり活動への支援を実施し、市民と一体となった森づくりに取り組んでいる。

3. 警戒避難体制の強化

土砂災害への防災・減災意識向上を目指した啓発活動を実施